



令和6年8月28日発行
 発行 NPO法人 札幌市里親会
 編集 札幌市里親会 事務局
 〒060-0007
 札幌市中央区
 北7条西26丁目
 札幌市児童福祉
 総合センター内
 TEL (011)622-8614
 FAX (011)622-8701
 URL <https://sal0oyakai.com/>
 印刷 メディアコーポレーション



仲間との出会いと支え合い

札幌市里親会事務局長 富樫 和佳

日頃より、札幌市里親会の活動にご理解とご協力をいただいている皆様に感謝申し上げます。

さて、当会では5月に、年1回の総会が開催され、「みんな育てる」「ともに育つ」の基本方針のもと、今年度の活動を開始しております。里親サロンの月例開催や委託家庭への訪問支援、親子で楽しめるレクリエーションの実施など、里親家庭同士が知り合い、何かあればおたがい支え合える関係作りにとりくんでいます。

10月を里親月間とし、この期間は里親制度を広く知ってもらい、新規登録者を増やすことに力を入れます。メインの企画としては、「札幌市里親促進フォーラム」を予定してお

り、市民の方を対象とする講演会と里親による体験発表を行います。「はじめまして。あなたは大切な人です」をフォーラムのテーマとし、準備を進めています。

有識者による講演では里親制度の詳細、子どもたちを取り巻く社会の状況と新しい里親の役割について知ることができます。また、体験発表では、養育里親・特別養子縁組里親・ファミリーホーム事業者と、それぞれ異なる立場の方から、実際に子どもを家庭に迎え入れて暮らすことについて話していただきます。里子の成長の様子、社会的自立に向けて必要なこと、ケアスによつては途中で里子の措置が解除される等、これまで色々な経験をしてきた里親さんたちの心の内を聞

ける機会となることでしよう。また、10月上旬には、札幌駅前通地下歩行空間で、フォスタリング機関により「里親フェスタ」が行われます。里親会は里子の美術作品を提供するなどフェスタの実施に協力します。一般市民の方に里親制度を広く知ってもらう機会となりますので、時間があります。日々の、養育にあたって

る里親の声が市民に届けられる機会を増やし、社会のみんなで子どもを育てていく里親制度の意義が多くの方に理解されることを願っています。今後とも里親会活動の更なる充実に努めていきたいと考えております。変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

「ぼぶら会特別企画 「奨学金について」の学習会」

4月のぼぶら会は、かねてからリクエस्टの多かった「奨学金」をテーマに開催されました。里親会事務局でも積極的に情報収集に努めています。募集期間が短いものもあり、情報発信の仕方に苦慮しているところです。ぜひ里親さん各自でもアンテナを張っていただければと思います。奨学金を使って里子さんを進学させた経験がある里親さんと児童養護施設のSWからの情報提供もいただき、大変助かりました。

また、給付型の奨学金を中心に紹介し、それぞれ例年の応募時期をお知らせしました。

最近の傾向として、応募要項の入手や申請も全てインターネット経由で受け付けるものが増えてきています。慣れていない方は面倒に感じるかもしれませんが、里子さんと一緒に挑戦してみてはいかがでしょうか。

目まぐるしく進化していく奨学金事情ですが、最新情報を逃すことなく里親さんたちにお知らせし、子どもたちの巣立ちを応援させていただきたいと思っています。

(事務局長 富樫 和佳)



新規登録者歓迎会が開催されました

6月5日(水)児童相談所大会議室にて、新規里親歓迎会が行われました。

児相2名、フォスタリング3名、里親、メンター10名、新規里親6名が参加しました。

初めは、児童相談所家庭支援課の湯谷課長から挨拶がありました。

そして里親会の北川理事長の挨拶、フォスタリングの挨拶があり、その後、それぞれ自己紹介がありました。私は1歳の里子と参加しました。

やっと歩けるようになった里子は、歩きたくてウロウロしていました。皆さん暖かく見守ってください、とてもありがたかったです。

その後は、3つのグループに分かれ里親同士での座談会がありました。

新規里親の皆さんは、養育里親、養子縁組里親さんでしたが、里子ちゃんがくることを前向きに考えていらつしやいました。

1人ではなく、仲間と一緒にみんなで育てていきたいという思いも強く感じられました。

今後も皆さんと繋がりを持ち、助

け合いながら楽しく子育てができるように少しでもお役にたてたらと思っています。

皆さん今後共、どうぞよろしくお願いたします。

(理事 太田 千穂)



里親会の総会報告



交流の機会となった総会

札幌市里親会の2024年度総会が、5月23日(木)に昨年と同様、創世スクエアのクリエイティブ・スタジオで行われました。総会に先立ち、北川理事長のあいさつ、理事長表彰が行われました。今年度は16名の方が表彰を受けました。表彰された方を代表して木田美佳子さんからあいさつがありました。

札幌市児童相談所の宮本まゆみ所長よりあいさつをいただいた後、総会に入りました。

事務局より、当日出席者が49名、委任状による出席者が83名、出席者の合計が132名となり、里親会会員の過半数であるため、総会として成立することが確認されました。出席者のなかから豊平区の加藤昌子さんが議長として選任され、加藤さんの進行により議事が行われました。

第1号議案2023年度事業報告が富樫事務局長より行われ、澤田監事から監査報告がなされた後に、事業報告が承認されました。続いて第2号議案2024

年度事業計画が承認されました。第3号議案は役員改選で、役員選考委員会を代表して大場監事より選考結果の報告が行われました。これまでの役員のうち畔越裕子理事が退任、後任として竹内透さんが理事として入り、その他の役員は再任、という役員選考委員会の案が承認されました。第4号議案議事録書名人の指名が行われ、議事が終了しました。

その後、札幌市児童相談所里親担当の赤倉係長から里子の委託状況、今年度のフォスタリング事業について説明が行われました。引き続き、児童相談所と里親の間の意見交換が行われました。まず、事前に出されていた質問に対する児童相談所の回答が提示され、続いて出席者の意見交換が行われました。今後意見交換を設定する際は、十分な時間をとり所長をはじめ責任ある立場の人が臨席し、参加者の意見をしっかりと聞きとってほしい、との要望がなされました。

昼食にサンドイッチが用意されてお

り、食事をとりながら、出席者全員がマイクをもって自己紹介を兼ねたあいさつをしました。オブザーバー参加のソーシャルワーカーの方、興正学園・札幌乳児院・麦の子会の3つのフォスタリング機関のみなさん、そして児童相談所で里親担当をされている職員の方からのあいさつがありました。

出席した里親のみなさんからこれまでの経験に即した話が具体的に語られ、ど

の方の話も興味深いものでした。子育ての悩み・苦しみ・不安と、里子の成長に立ち会う喜び・幸福感が入り混じった体験談を多くの参加者から聞く機会となりました。

(監事 澤田 展人)



円山動物園日帰レクリエーション

日帰りレクリエーションに参加して

「新しく来たライオン見れるかな?」「雨降らない?」と楽しみにしていた子供達——色々交流して成長を感じる機会になりました。

「新しく来たライオン見れるかな?」「雨降らない?」など前日から子供達はとっても楽しみにしていたレクリエーション! 総勢122人集まって楽しい雰囲気ですタートしました。

久しぶりに会った人、初めて会った人、色々交流しているのがとても楽しそうでした。

うちの子も飲み物やお弁当と一緒に配るお手伝いをしてくれて成長を感じる機会にもなりました。

今回はブルーシートでみんなでお弁当を食べ、仲良くなった子ども達同士で遊ぶ姿も見れ、とても楽しく過ごせました。

帰る頃には雨が降り出しましたが、ギリギリまで遊具で遊んだり動物園を満喫した1日でした。

担当の理事さん達、本当にありがとうございました。

また次回楽しみにしております。

(理事 福場 智子)



里親登録数状況

令和6年6月30日現在

	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	市外	合計
里親登録者数(組数)	47	58	90	42	33	47	20	33	37	37	2	446
内訳	養育里親	38	45	82	39	27	41	20	30	29	2	377
	専門(再掲)	2	2	9	4	1	4	1	4	2	1	32
	養縁兼務(再掲)	3	9	7	8	4	12	6	7	1	1	65
	養縁里親	8	8	6	1	5	6	0	2	7	11	54
	親族里親	1	5	2	2	1	0	0	1	1	2	15

里親委託家庭数：151家庭

委託児童数：203人(うち市外里親への委託19人) ※203人の他に管外見相から市内里親への委託9人

FH委託児童数：81人(うち管外FHへの委託7人)

第18回ファミリーホーム全国研究大会 in 旭川2024 参加して

理事 竹内 透

令和6年7月29日から30日にかけて、第18回ファミリーホーム全国研究大会 in 旭川2024に参加しました。10年ぶりに北海道での開催で、前回大会からファミリーホームの数も倍になり、参加者も100名以上多く全国から集まり盛大に開催されました。

初日の、こども家庭庁の行政説明では、子ども基本法、虐待相談件数、障がいのある子の増加など現状を教えて頂きました。記念講演では、旭山動物園の坂東元統括園長より「動物の子育てに学ぶ」というテーマで講演をして頂きました。その中でオラウータンのケースでは、小さい時に動物園にやってきてその後子どもが生まれたが、子育てが出来るか心配だった。動物園側もサポートしながら本気で関わり本当の親になって行った。人間にも通じることで、動物も人間もお母さんの胸にとび込んでいけばお母さんになれるとお話でした。サルの話では、子どものうちは、お尻が白く集団で生活する中で、親子でなくても小さいサルを大人のサルが守るという事で、本当に動物の子育ては、人間の子育てに通じるものがあると知り、大変勉強になりました。

その後の基調講演では、栃木県の養徳園の福田雅章理事長より「社会的養護で育つという事」というテーマで講演して頂きました。福田理事

長自身も養徳園で育った経験があります。現在この施設の理事長をされています。話の中で、この子があります。ままでいられる空間を享受する。失敗はできないと思うのではなく、失敗しても大丈夫だと考えさせることが大事であるとお話しされていました。

初日最後のプログラムでは、日本ファミリーホーム協議会、全国児童家庭支援センター協議会、全国自立援助ホーム協議会の会長によるシンポジウムが開かれました。テーマは「地域みんなでつながる子育ての輪」で、それぞれの立場から各協議会の現状や役割、などお聞きして、同じ社会的養護を必要とする子どもを支援しているの、その地域でつながっていき事が大事だとあらためて感じました。

その後の交流会では、全国のファミリーホーム事業者、行政機関、里親さんなど300名以上が集まり交流出来ました。

翌日は、分科会が4つとユースプログラムがありました。

それぞれの分科会のテーマは、フォスタリング機関の整備状況や愛着障害について、こころの自立、実践交流のあり方などで、講師の講演の後、質疑応答やグループワークなど実りの多い内容でした。その中でのこころの自立の分科会では、田中哲先生から、こころの発達は、一生続

いていく発達です。人間という字は、人の間に生きると書くので、絶対安全な人を見つめる。自立するところという事は、子どもが色々なところ依存する先をたくさん見つける事、依存先、頼れる人を見つめる事が心の自立となると教えて頂きました。

今回の大会では、子どもたちも大勢参加しました。プログラムの内容は、室内託児、旭山動物園、科学館サイバル、eースポーツ、サイクリング、ビバアルパカでそれぞれ2日間好きなプログラムから選択して楽しんでいました。29日は、あいにくの小雨でしたが、30日は、晴れて子どもたちもより楽しめました。両日とも150名前後の子どもたちが参加していました。

今大会の準備は、1年以上前から行って来ました。今年に入り実行委員会開催や案内用の開催要項作成など実行委員会を中心に、各講演の講師依頼、分科会のテーマに沿って内容を検討したり、それぞれの担当者が協力し合って作り上げて来ましたので、無事終わった時は、ほっとしました。そして大会に全国からファミリーホーム事業者はじめ、社会的養護関係団体の方や行政機関、里親さん、学生さんなどにお越しいただき、ボランティアの方々も含めると500名以上の方がたに関わって頂き感謝申し上げます。

ありがとうございました。



(株)王将フードサービス様から お子様弁当の寄贈がありました



春休み中の子どもたちへの食支援として餃子の王将よりお子様弁当の無償提供がありました。当日は、子どもたちがたくさん集まってくれて、おもちゃで遊んだり、かくれんぼや鬼ごっこなどをして楽しそうに過ごしていました。お昼の時間が近づく頃、ホカホカのお弁当が届き、室内に美味しい香りが充満。子どもたちは、「早く食べたい!」「○○ちゃんの隣で食べよう!」と大興奮でした。

忙しい時間にご対応下さった王将の店舗スタッフさんに感謝、そして運搬係を引き受けてくれた里親さん達にも感謝しながらのランチタイム。餃子から揚げ、そしてソーセージも入っていて、ご飯も大盛り! 子どもが満足しないわけがないお弁当でした。(理事 富樫 和佳)

新役員体制が決まる

去る5月23日に開かれた札幌市里親会総会での審議により、役員選考委員会の案が承認され、2024年度から2年間の新役員が決定しました。

メンバーをご紹介します。理事として北川聡子(東区)、金田真季(南区)、上原美佳(豊平区)、富樫和佳(北区)、稲生義裕(豊平区)、太田千穂(白石区)、富田清(南区)、平島亜里(中央区)、福場智子(手稲区)、藤谷織絵(手稲区)、南貴代子(東区)、山口真紀(西区)、竹内透(東区)のみなさん、監事として大場幸子(豊平区)、澤田展人(豊平区)の二人、以上の方が今後の役員を務めることになりました。

2023年度までの役員のうち畔越裕子さんが退任されました。畔越さんのこれまでの尽力に感謝いたします。畔越さんの退任の後を継ぐ理事として竹内透さんが新たに役員となりました。

竹内透さんの紹介をします。竹内さんは東区のファミリーホームでたくさんの里子を養育されてきました。社会的養護に関心が深く知識と経験が豊富な方です。これまで2年間里親会事務局で業務に就き、事務局長を補佐してこられました。

総会後開かれた役員会で、理事長に北川聡子さんが選任され、理事長から、副理事長として金田真季さんと上原美佳さん、事務局長として富樫和佳が委嘱されました。今後、以上に紹介した役員体制で里親会の運営に携わってまいりますのでよろしくお願ひします。

(監事 澤田 展人)

ご協力ありがとうございました

令和六年七月十日現在

支援者ご芳名

敬称略・順不同

【寄付者 個人】

野呂のり子、牧野翔、朝倉誠

【寄付者 団体】

〈民生委員児童委員協議会〉

〔白石区〕 東札幌地区

〔豊平区〕 福住地区、平岸地区

〔中央区〕 苗穂地区、曙地区

〔北区〕 北地区

〔西区〕 山の手地区、琴似二十四軒地区

【賛助会員個人】

花輪邦隆、池田寛之、木村初江、
関谷三紀子、小谷明義

【賛助会員団体】

〈民生委員児童委員協議会〉

〔中央区〕 大通地区、東地区、南円山地区、
豊水地区、円山地区、桑園地区

〔南区〕 簾舞地区

〔北区〕 新琴似地区、拓北あいの里地区、
幌北地区、屯田地区

〔東区〕 札幌地区

〔厚別区〕 厚別中央地区

〔清田区〕 清田中央地区、清田地区

〔白石区〕 菊水地区、東白石地区、
菊の里地区

〔西区〕 西野地区、発寒北地区

〔手稲区〕 富丘西宮の沢地区、
稲穂金山地区、新発寒地区、
手稲鉄北地区、星置地区

【協力者】

福住珈琲焙煎店

令和5年度 札幌市里親会一般会計収支決算書

正味財産増減額計算書 (2023 (令和5) 年度)

特定非営利活動法人札幌市里親会 (2023年4月1日から2024年3月31日) (単位:円)

科目	当年度 (A)	前年度 (B)	差異 (A)-(B)	備考
経常増減の部				
1 経常収益				
(1) 受取会費	6,254,500	5,225,000	1,029,500	
①正会員受取会費	1,245,500	1,085,000	160,500	
②賛助会員受取会費	326,000	359,000	-33,000	
③運営協力金	4,683,000	3,781,000	902,000	
(2) 受取寄付金	688,000	440,000	248,000	
(3) 受取助成金等	838,100	998,000	-159,900	
①札幌市共同募金会	280,000	280,000	0	里親新規開拓事業210,000 機関紙ほふら発行70,000
②全国里親会	10,000	0	10,000	活動推進助成金10,000
③北海道共同募金会	428,000	618,000	-190,000	お年玉@2,000*214名
④その他	120,100	100,000	20,100	道新福祉振興基金100,000 日本こども支援協会20,100 (Zoom助成金)
(4) 事業収益	1,186,399	956,295	230,104	
①里親制度普及啓発事業	297,000	297,000	0	※札幌市受託事業
②里親養育相互援助事業	407,000	407,000	0	※札幌市受託事業
③里親委託家庭訪問事業	232,399	252,295	-19,896	※札幌市受託事業 (前年度メンター保険料差額13,400含む)
④学習支援事業	250,000	0	250,000	※札幌市受託事業
(5) その他の収益	2,852,578	1,733,084	1,119,494	
①受取利息	78	84	-6	預金利息
②雑収益	0	0	0	
③参加費収入	1,852,500	833,000	1,019,500	日帰りレク27,500 (大人弁当@500*55名) 宿泊交流会参加費1,825,000
④特定資産取崩	1,000,000	900,000	100,000	特別事業基金 (特定資産) から振替
経常収益合計	11,819,577	9,352,379	2,467,198	
2 経常費用				
(1) 事業費	8,266,406	7,422,777	843,629	
給料手当	700,500	676,690	23,810	事務局員給料 (※管理費と折半)
法定福利費	0	0	0	
通勤費	0	0	0	
諸謝金	384,940	247,630	137,310	メンター謝礼@3,630*88件=319,440 赤い羽根街頭協力500*3名=1,500 里親フェスタ作品提供・協力者、ラジオ収録謝礼@1,000*28名=28,000 ※1 フォーラム体験発表@1,000*3名=3,000 ※2 事務局職務執行謝礼@2,000*12日=24,000 ほふら寄附謝礼@1,000*9名=9,000
印刷製本費	467,830	387,860	79,970	封筒47,850 払込票31,900 機関紙ほふら印刷388,080
会議費	8,000	16,000	-8,000	全里大会参加費@4,000*2名
会合費	4,039,226	2,755,364	1,283,862	里親制度普及啓発事業 (フォーラム、ラジオ放送など) 345,631 ※1 里親新規開拓事業 (フォーラム) 255,925 ※2 里親養育相互援助事業 (サロン、地区懇、相談電話など) 444,534 ※3 学習支援事業 250,000 宿泊交流会 2,510,900 日帰りレク 77,963 総会 80,100 地区懇、ユースサロン、新規登録者歓迎会他飲食代等 74,173
旅費交通費	197,777	168,980	28,797	全国大会参加者旅費129,217 (2名)、役員交通費 (サロン活動等)
車両費	0	0	0	
通信運搬費	191,888	238,424	-46,536	ゆうメール郵送料
消耗品費	0	0	0	
賃借料	0	0	0	
保険料	106,970	106,420	550	メンター保険67,550 傷害保険39,420
諸会費	260,000	642,000	-382,000	全国里親会費250,000 全里大会協力金10,000
租税公課	1,000	800	200	収入印紙
授産費	1,908,275	2,182,609	-274,334	お年玉 (ギフト券) 442,000 生活援助金1,000,000 (10件) 入学税金370,000 (37件) 理事長表彰記念品80,000 (16件) 賞状、ファイル等16,275
雑費	0	0	0	
(2) 管理費	1,515,104	1,599,901	-84,797	
給料手当	700,500	676,690	23,810	事務局員給料 (※事業費と折半)
法定福利費	23,425	14,421	9,004	労働保険料
通勤費	55,680	105,480	-49,800	事務職員通勤交通費
旅費交通費	171,240	127,880	43,360	役員交通費 (理事会等)
通信運搬費	172,612	234,849	-62,237	携帯電話料、インターネット利用料、郵便料、切手代ほか
消耗品費	108,592	110,460	-1,868	プリンターインク、コピー用紙、文具ほか
水道光熱費	251,689	228,345	23,344	行政財産使用許可に基づく加算料 (光熱水費ほか)
新聞図書費	1,500	1,500	0	「あたらしいふれあい」購読料
諸会費	12,000	12,000	0	北海道NPOサポートセンター10,000、札幌市社協年会費2,000
支払手数料	17,466	16,721	745	振込手数料等
雑費	400	71,555	-71,155	
経常経費合計	9,781,510	9,022,678	758,832	
正味財産増減の部				
当期正味財産増減額	2,038,067	329,701	1,708,366	
前期繰越正味財産額	2,027,252	2,697,551	-670,299	(※特定資産7,184,516)
特定資産への振替額	1,180,000	1,000,000	180,000	特別事業基金1,080,000 (福祉珈琲基金より寄付金80,000含む) 全通大会準備金100,000
次期繰越正味財産額	2,885,319	2,027,252	858,067	(※特定資産7,364,516)
※1里親制度普及啓発事業 373,631	市民交流プラザ備品使用料56,900 託児51,645 配布用ティッシュ 27,500 パンフレット84,700 エコペーパー、インク、ラベル等52,286、ラジオ放送制作費55,000 収録協力者謝礼4,000 地下鉄駅ポスト-貼17,600 里親フェスタ謝礼24,000			
※2里親新規開拓事業 258,925	講師謝礼55,105 講師旅費交通費70,420 体験発表者謝礼3,000 会場料36,000 横断幕等8,600 クリアファイル85,800			
※3里親養育相互援助事業 444,534	相談電話140,874 地区懇169,325 (会場料、物件使用料、講師旅費交通費、託児謝礼) zoom利用料2,110 サロン等79,390 (会場料、機器使用料、研修講師謝礼等) エコペーパー、インク、封筒等32,835			

令和6年度 札幌市里親会一般会計収支予算書

正味財産増減額計算書 (2024 (令和6) 年度予算) (案)

特定非営利活動法人札幌市里親会 (2024年4月1日から2025年3月31日) (単位:円)

科目	当年度 (A)	前年度 (B)	差異 (A)-(B)	備考
経常増減の部				
1 経常収益				
(1) 受取会費	6,280,000	6,254,500	25,500	
①正会員受取会費	1,250,000	1,245,500	4,500	
②賛助会員受取会費	330,000	326,000	4,000	
③運営協力金	4,700,000	4,683,000	17,000	
(2) 受取寄付金	600,000	688,000	-88,000	
(3) 受取助成金等	830,000	838,100	-8,100	
①札幌市共同募金会	260,000	280,000	-20,000	里親新規開拓事業200,000 機関紙ほふら発行60,000
②全国里親会	10,000	10,000	0	活動推進助成金10,000
③北海道共同募金会	440,000	428,000	12,000	お年玉@2,000*220名
④その他	120,000	120,100	-100	道新福祉振興基金100,000 日本こども支援協会20,000 (Zoom助成金)
(4) 事業収益	1,181,900	1,186,399	-4,499	
①里親制度普及啓発事業	297,000	297,000	0	※札幌市受託事業
②里親養育相互援助事業	416,000	407,000	9,000	※札幌市受託事業
③里親委託家庭訪問事業	218,900	232,399	-13,499	※札幌市受託事業
④学習支援事業	250,000	250,000	0	※札幌市受託事業
(5) その他の収益	2,830,100	2,852,578	-22,478	
①受取利息	100	78	22	預金利息
②雑収益	0	0	0	
③参加費収入	1,830,000	1,852,500	-22,500	宿泊交流会参加費
④特定資産取崩	1,000,000	1,000,000	0	特別事業基金 (特定資産) から振替
経常収益合計	11,722,000	11,819,577	-97,577	
2 経常費用				
(1) 事業費	7,882,200	8,266,406	-384,206	
給料手当	649,000	700,500	-51,500	事務局員給料 (※管理費と折半)
法定福利費	0	0	0	
通勤費	0	0	0	
諸謝金	392,200	384,940	7,260	メンター謝礼@3,630*90件=326,700 赤い羽根街頭協力500*3名=1,500 里親フェスタ作品提供・協力者、ラジオ収録謝礼@1,000*28名=28,000 フォーラム体験発表@1,000*3名=3,000 ほふら寄附謝礼@1,000*9名=9,000 事務局職務執行謝礼@2,000*12日=24,000
印刷製本費	245,000	467,830	-222,830	封筒50,000 機関紙(ほふら印刷)195,000
会議費	20,000	8,000	12,000	全里大会参加費 ファミリーホーム全里大会参加費
会合費	4,100,000	4,039,226	60,774	里親制度普及啓発事業 (フォーラム、ラジオ放送など) 350,000 里親新規開拓事業 (フォーラム) 260,000 里親養育相互援助事業 (サロン、地区懇、相談電話など) 450,000 学習支援事業250,000 宿泊交流会 2,520,000 日帰りレク85,000 総会110,000 地区懇、ユースサロン、新規登録者歓迎会他飲食代等75,000
旅費交通費	250,000	197,777	52,223	全国大会参加者旅費 (全里、FH)、役員交通費 (サロン活動等)
車両費	0	0	0	
通信運搬費	190,000	191,888	-1,888	ゆうメール郵送料
消耗品費	0	0	0	
賃借料	0	0	0	
保険料	120,000	106,970	13,030	メンター保険80,000 傷害保険40,000
諸会費	85,000	260,000	-175,000	全国里親会会費75,000 全里大会協力金10,000
租税公課	1,000	1,000	0	収入印紙
授産費	1,830,000	1,908,275	-78,275	お年玉 (ギフト券) 440,000 生活援助金1,000,000 (10件) 入学税金300,000 (30件) 理事長表彰記念品75,000 (15件) 賞状、ファイル等15,000
雑費	0	0	0	
(2) 管理費	1,475,800	1,515,104	-39,304	
給料手当	649,000	700,500	-51,500	事務局員給料 (※事業費と折半)
法定福利費	24,000	23,425	575	労働保険料
通勤費	56,000	55,680	320	事務職員通勤交通費
旅費交通費	172,000	171,240	760	役員交通費 (理事会等)
通信運搬費	173,000	172,612	388	携帯電話料、インターネット利用料、郵便料、切手代ほか
消耗品費	110,000	108,592	1,408	プリンターインク、コピー用紙、文具ほか
水道光熱費	260,000	251,689	8,311	行政財産使用許可に基づく加算料 (光熱水費ほか)
新聞図書費	1,500	1,500	0	「あたらしいふれあい」購読料
諸会費	12,000	12,000	0	北海道NPOサポートセンター10,000、札幌市社協年会費2,000
支払手数料	17,500	17,466	34	振込手数料等
雑費	800	400	400	
経常経費合計	9,358,000	9,781,510	-423,510	
正味財産増減の部				
当期正味財産増減額	2,364,000	2,038,067	325,933	
前期繰越正味財産額	2,885,319	2,027,252	858,067	(※特定資産7,184,516)
特定資産への振替額	1,100,000	1,180,000	-80,000	特別事業基金1,000,000 全通大会準備金100,000
次期繰越正味財産額	4,149,319	2,885,319	1,264,000	(※特定資産7,364,516)

毎年10月は里親月間です

入場無料

2024

里親フェスタ



里親フェスタは、里親養育の広報啓発を行い、里親養育の魅力を伝えることを目的としています。当日は、子どもたちの作品も展示いたします。ぜひご来場ください。

10月6日(日) 11:00~15:00

札幌駅前通地下歩行空間

【チ・カ・ホ】北3条交差点広場(西)

主催

札幌市/社会福祉法人 常徳会 興正フォスタリングセンター
社会福祉法人 北翔会 札幌乳児院 /社会福祉法人 麦の子会

共催 NPO法人 札幌市里親会

庭で収穫するサクランボウもようやく7月に入り収穫も終わりとなり作物は、10月頃に採れるブドウへと移ってきます。サクランボウは天候に恵まれて成育状況も良く豊作となりました。収穫は町内会の子供達とお母さんでお願いしています。何時まで木の世話が出来るか分かりませんが、来年も皆に喜ばれる様に頑張っていきます。例年より早い夏の到来により、会員の皆様に於かれましては体調の面での用意は出来ていますか。

富田 清

編集後記



札幌市里親会は「赤い羽根共同募金」の支援を一部受けて運営しています。